



平成31年8月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成31年4月5日

上場会社名 マニー株式会社

上場取引所 東

コード番号 7730 URL <http://www.mani.co.jp>

代表者 (役職名) 代表執行役社長 (氏名) 高井 壽秀

問合せ先責任者 (役職名) 執行役副社長 (氏名) 高橋 一夫

TEL 028-667-1811

四半期報告書提出予定日 平成31年4月12日

配当支払開始予定日

平成31年5月9日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年8月期第2四半期の連結業績(平成30年9月1日～平成31年2月28日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年8月期第2四半期	9,088	5.9	2,906	21.4	2,921	20.6	4,034	140.3
30年8月期第2四半期	9,663	17.8	2,393	10.1	2,421	1.3	1,678	1.0

(注) 包括利益 31年8月期第2四半期 1,982百万円 (23.1%) 30年8月期第2四半期 2,577百万円 (12.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年8月期第2四半期	122.96	
30年8月期第2四半期	51.16	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年8月期第2四半期	38,927	34,741	89.2
30年8月期	37,683	33,546	89.0

(参考) 自己資本 31年8月期第2四半期 34,741百万円 30年8月期 33,546百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年8月期		18.00		24.00	42.00
31年8月期		30.00			
31年8月期(予想)				30.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 平成31年8月期の中間配当金及び平成31年8月期(予想)の期末配当金には、それぞれ特別配当7円が含まれています。

3. 平成31年8月期の連結業績予想(平成30年9月1日～平成31年8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	18,737	6.8	5,729	12.8	5,695	9.1	5,976	58.5	182.14

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年8月期2Q	35,637,000 株	30年8月期	35,637,000 株
期末自己株式数	31年8月期2Q	2,828,075 株	30年8月期	2,827,961 株
期中平均株式数(四半期累計)	31年8月期2Q	32,808,959 株	30年8月期2Q	32,809,107 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における国内経済は、政府による経済対策等を背景に企業業績が伸長し雇用情勢や所得環境が改善したことで、全体としては穏やかな回復基調にあります。一方で、海外経済におきましては、米国と中国による通商交渉及び英国の合意無きEU離脱問題の結果次第では、経済全体の下振れリスクが懸念されます。

このような環境下、当社グループにおきましては、引き続き需要の拡大が見込まれる新興国市場において、現地販売拠点を中心にマーケティングの強化を図り、各国におけるユーザーニーズの把握及び販売網の整備に努めた結果、サージカル、アイレス針関連製品の売上を増加させることができました。一方、デンタル関連製品においては、Schütz Dental GmbHの株式譲渡に伴い売上が減少したことで、全体としては減収となりました。

生産面においては、アイレス針関連製品の受注増加に対応すべく、新工場であるベトナムフーエン第2工場（アイレス針関連製品向け）での増産体制を構築すると共に、生産効率の向上及び短納期化を実現するため、第1工場（サージカル、デンタル関連製品向け）のレイアウト見直し、顧客への直接出荷体制を進めてまいりました。さらに、従来国内工場で行っていた品質向上及びコスト削減に向けた工程改善においても、ベトナム主体で推進する体制を整備しました。

開発面においては、サージカル、アイレス針、デンタルの各セグメントの開発部門を集約させ、セグメントの枠を超えた技術交流・設備の共有化を図るとともに、ドイツの拠点 GDF Gesellschaft für dentale Forschung und Innovationen GmbHとも先進国市場における新製品の売上拡大を目指して、より一層の技術交流ならびに情報共有を行い、新製品開発強化に力を入れてまいりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は9,088百万円（前年同期比5.9%減）、営業利益はフーエン第2工場の増産体制構築に伴う売上原価率の改善ならびにSchütz Dental GmbHの株式譲渡に伴う販売費及び一般管理費の減少により2,906百万円（同21.4%増）、経常利益は営業利益が増加したものの為替差損が前年同期より増加したことにより2,921百万円（同20.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益はコーポレートガバナンス・コードの政策保有株式削減の趣旨に沿った株式売却による投資有価証券売却益2,749百万円の計上により4,034百万円（同140.3%増）となりました。

セグメント別の業績概況は、次のとおりであります。なお、セグメントの売上高につきましては、外部顧客への売上高を記載しております。

(サージカル関連製品)

品質評価の高い眼科ナイフ及びトロカールの売上が海外で好調に推移したことから、売上高は2,686百万円（前年同期比15.3%増）となりました。また、売上高が増加したことに加え、利益率の高い製品の売上高が増加したこと等により、セグメント利益(営業利益)は876百万円（同33.0%増）となりました。

(アイレス針関連製品)

フーエン第2工場での増産体制の構築に伴い、海外大口顧客の売上が好調に推移したことから、売上高は3,017百万円（前年同期比12.0%増）となりました。また、売上高が増加したことに加え、フーエン第2工場稼働によるアイレス針の増産が軌道に乗ったこと等から、セグメント利益(営業利益)は1,213百万円（同19.3%増）となりました。

(デンタル関連製品)

ダイヤモンドの売上が海外で好調に推移した一方、Schütz Dental GmbH株式譲渡に伴う売上の減少により、売上高は3,384百万円（前年同期比27.0%減）となりました。一方、ベトナムへの生産工程移管の推進により原価率が改善された製品の売上高が増加したこと等により、セグメント利益(営業利益)は816百万円（同13.9%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ1,244百万円増加し、38,927百万円となりました。これは主に、現金及び預金が増加した一方、投資有価証券が減少したこと等によるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ49百万円増加し、4,186百万円となりました。これは主に、未払法人税等が増加した一方、繰延税金負債が減少したこと等によるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ1,194百万円増加し、34,741百万円となりました。これは主に、利益剰余金が増加した一方、その他有価証券評価差額金が減少したこと等によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ3,606百万円増加し、15,639百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、2,113百万円（前年同期比3.6%減）となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益が増加した一方、投資有価証券売却損益が増加したこと等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果得られた資金は、2,353百万円（前年同期は489百万円の支出）となりました。これは主に、投資有価証券の売却及び償還による収入が増加した一方、定期預金の預入による支出が増加したこと等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、789百万円（前年同期比41.7%増）となりました。これは主に、配当金の支払額が増加したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、「(1) 経営成績に関する説明」のとおりであります。通期の連結業績予想につきましては、平成30年10月11日の「平成30年8月期 決算短信」で公表いたしました数値に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成31年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,065,220	16,005,463
受取手形及び売掛金	2,190,987	2,430,018
商品及び製品	1,213,560	1,222,003
仕掛品	2,727,386	2,929,816
原材料及び貯蔵品	1,600,289	1,612,034
その他	452,694	272,748
貸倒引当金	△2,693	△3,554
流動資産合計	20,247,445	24,468,531
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,197,195	4,175,169
機械装置及び運搬具(純額)	4,841,745	4,753,638
土地	1,146,656	1,146,656
その他(純額)	681,101	739,930
有形固定資産合計	10,866,698	10,815,394
無形固定資産		
のれん	364,194	313,176
ソフトウェア	31,007	28,371
その他	520,142	522,398
無形固定資産合計	915,344	863,945
投資その他の資産		
投資有価証券	5,329,021	2,226,467
繰延税金資産	57,744	334,260
保険積立金	255,455	203,672
その他	11,783	15,283
投資その他の資産合計	5,654,005	2,779,684
固定資産合計	17,436,048	14,459,024
資産合計	37,683,494	38,927,555

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成30年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成31年2月28日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	138,865	146,722
未払金	831,653	524,017
未払法人税等	719,999	1,736,411
賞与引当金	546,296	649,977
その他	518,898	478,998
流動負債合計	2,755,713	3,536,127
固定負債		
繰延税金負債	680,863	—
役員退職慰労引当金	129,230	72,790
退職給付に係る負債	438,647	442,839
資産除去債務	111,298	113,767
その他	20,900	20,900
固定負債合計	1,380,939	650,297
負債合計	4,136,653	4,186,425
純資産の部		
株主資本		
資本金	988,731	988,731
資本剰余金	1,036,311	1,036,311
利益剰余金	31,653,772	34,900,562
自己株式	△3,124,484	△3,125,059
株主資本合計	30,554,331	33,800,546
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,529,436	478,964
為替換算調整勘定	547,779	538,177
退職給付に係る調整累計額	△84,705	△76,557
その他の包括利益累計額合計	2,992,509	940,584
純資産合計	33,546,841	34,741,130
負債純資産合計	37,683,494	38,927,555

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年9月1日 至平成30年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年9月1日 至平成31年2月28日)
売上高	9,663,452	9,088,792
売上原価	4,030,934	3,345,223
売上総利益	5,632,518	5,743,569
販売費及び一般管理費	3,238,855	2,836,743
営業利益	2,393,662	2,906,825
営業外収益		
受取利息	11,020	17,872
受取配当金	27,641	24,568
投資事業組合運用益	9,399	10,134
その他	28,114	39,311
営業外収益合計	76,175	91,887
営業外費用		
支払利息	73	73
為替差損	46,134	72,158
その他	2,102	5,405
営業外費用合計	48,311	77,637
経常利益	2,421,527	2,921,075
特別利益		
保険解約返戻金	14,250	58,349
投資有価証券売却益	—	2,749,996
特別利益合計	14,250	2,808,346
特別損失		
固定資産除却損	1,261	516
役員退職慰労金	—	28,540
特別損失合計	1,261	29,056
税金等調整前四半期純利益	2,434,516	5,700,365
法人税、住民税及び事業税	718,524	1,727,316
法人税等調整額	37,321	△61,157
法人税等合計	755,845	1,666,159
四半期純利益	1,678,670	4,034,206
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,678,670	4,034,206

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成29年9月1日 至 平成30年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成30年9月1日 至 平成31年2月28日)
四半期純利益	1,678,670	4,034,206
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	682,952	△2,050,471
為替換算調整勘定	209,584	△9,602
退職給付に係る調整額	6,640	8,148
その他の包括利益合計	899,178	△2,051,925
四半期包括利益	2,577,849	1,982,280
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,577,849	1,982,280

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年9月1日 至平成30年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年9月1日 至平成31年2月28日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,434,516	5,700,365
減価償却費	624,348	631,266
のれん償却額	119,851	49,062
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	2,716	862
賞与引当金の増減額 (△は減少)	8,082	103,488
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	21,250	△34,320
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	7,948	15,784
受取利息及び受取配当金	△38,661	△42,440
支払利息	73	73
固定資産除却損	1,261	516
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△2,749,996
投資事業組合運用損益 (△は益)	△9,399	△10,134
保険解約損益 (△は益)	△14,250	△58,349
売上債権の増減額 (△は増加)	△125,023	△238,788
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△117,267	△236,995
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	63,841	109,503
仕入債務の増減額 (△は減少)	△6,273	20,115
未払金の増減額 (△は減少)	△26,980	△462,623
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	113,505	△39,701
その他	3,482	62,648
小計	3,063,020	2,820,337
利息及び配当金の受取額	45,662	42,667
法人税等の支払額	△915,835	△749,022
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,192,847	2,113,982
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△16,747	△337,569
有形固定資産の取得による支出	△486,124	△371,605
無形固定資産の取得による支出	△58,120	△7,799
投資有価証券の売却及び償還による収入	—	2,969,376
投資事業組合分配金による収入	22,970	12,690
保険積立金の積立による支出	△4,725	△3,575
保険積立金の解約による収入	53,099	91,589
投資活動によるキャッシュ・フロー	△489,646	2,353,105
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△124	△574
配当金の支払額	△556,791	△788,759
財務活動によるキャッシュ・フロー	△556,915	△789,334
現金及び現金同等物に係る換算差額	△48,025	△71,359
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,098,259	3,606,394
現金及び現金同等物の期首残高	7,456,408	12,032,847
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,554,667	15,639,242

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

- I 前第2四半期連結累計期間（自 平成29年9月1日 至 平成30年2月28日）
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
	サージカル 関連製品	アイレス針 関連製品	デンタル 関連製品			
売上高						
外部顧客への売上高	2,329,952	2,694,960	4,638,539	9,663,452	-	9,663,452
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	85,026	-	85,026	△85,026	-
計	2,329,952	2,779,986	4,638,539	9,748,478	△85,026	9,663,452
セグメント利益	659,439	1,017,511	716,711	2,393,662	-	2,393,662

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

- II 当第2四半期連結累計期間（自 平成30年9月1日 至 平成31年2月28日）
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
	サージカル 関連製品	アイレス針 関連製品	デンタル 関連製品			
売上高						
外部顧客への売上高	2,686,450	3,017,669	3,384,673	9,088,792	-	9,088,792
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	124,986	-	124,986	△124,986	-
計	2,686,450	3,142,655	3,384,673	9,213,778	△124,986	9,088,792
セグメント利益	876,846	1,213,954	816,025	2,906,825	-	2,906,825

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。